とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	職務等級とその役割を明確にして旧来の年功賃金制度を修正。終身雇用を維持しながらも能力のある人材に門戸を開き中若年層のチャレンジを促している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	人権・労働	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	セクハラ、パワハラに関しては就業規則で禁止を明記している　また相談窓口を総務部に置いている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	人権・労働	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	労働基準法を順守し、就業規則に労働時間を明記している。この１年間で休日出勤を含めた残業時間を１１％削減した								8.5 8.8									
4	人権・労働	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	現時点で外国人労働者の雇用はないが、就労環境は適切にメンテナンスが行われている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	安全衛生委員会を設置し月1回生産現場の環境（安全や健康への影響）について確認している。この１年間、大きな労働災害は発生していない			3					8									
6	人権・労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	就業規則に基づき年に1回のストレスチェック（希望者）を実施、問題があれば専門医による指導を受けている			3														
7	人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・「くるみん認定」を取得している　・在宅勤務制度を導入し働き方改革を進めている　・この１年間で女性管理職が２名誕生した　・男性社員の育児休業を支援しておりこの３年間で３名が取得した　・育児休業取得者には会社として支援金を準備している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	人権・労働	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	産業医による定期健診（全員　年1回）を受けている　また必要に応じて保健士から個別に健康指導が受けられる体制を構築している			3					8									
9	人権・労働	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	複数の職種が出来る様に多能工化を推進している　また自己啓発支援規定を作成し社員の積極的な自己啓発活動を支援している　この１年は初めての試みとして生産部を中心にウエブによる外部研修会を実施した（テーマはコーチング）				4				8	9								
10	人権・労働	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	人事制度を見直し、年功型から役割等級型へ軸足を移した（昇格の機会均等、同一労働・同一賃金を実現） 契約社員から正社員への職群転換が可能な制度を導入しており、この1年では２名を正社員として採用した								8.5		10.2 10.3							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	発生した廃棄物は再生紙や堆肥などに加工されて再利用している　この1年は製造歩留まり管理を強化し廃棄物の減少に取り組んでいる											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1			
12	環境	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	エネルギー使用量を把握している 電気についてはリアルタイムに使用量を監視している　またエネルギー消費統計調査に協力し書面で報告している　この１年間を見ると電気は原単位で３％、LPガスは６％削減した							7.3						13				
13	環境	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	温室効果ガスの排出量は工場内の空調設備を更新し前年比で５％削減 照明のＬED化を進めLED化率は計画の３０％を達成							7.2 7.3					12.4	13.3				

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																	
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	紙素材を活用することで有機溶剤の使用を抑制。家庭用に使用しているポリ包材で一部商品に使用する包材を直接印刷から紙シール貼りに変更。包材メーカーの製造ロットを小さくし包材在庫の最適化も実現（金額ベースの減少率６０％）			3.9			6.3					11.6	12.4				
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	生産活動によって発生した有機廃棄物は堆肥で再利用している 化石燃料削減の観点から混載による物流改善を実施、混載による納品頻度は昨年比で１．６倍に上昇した						6.6									15		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善、節水に取り組んでいるが、この１年間では大きな改善は出来なかった						6.4 6.6											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	食品安全マネジメントシステムのＪＦＳ－Ｃ規格を取得、廃棄物は処理手順に従い適正に処理している。工場内の熱源にはＣＯ２排出の少ないガスボイラーを使用していている			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用	この1年間の環境に関する取り組み状況については２０２２年１１月に当社のHP上で開示する												12.6					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	（予定）再生可能エネルギーの使用について検討する							7.2						13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用													12.2	13	14	15		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	全製品の約30%について賞味期限を３０日延長しフードロスを削減した。またＤＸ改革を進めコピー用紙を前年同期比で２０％削減した。ニッポンフードシフトに登録し家庭用商品の賞味期限切れによる廃棄をゼロにする取り組みを開始した						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	就業規則の服務規程に明記している																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	経営理念として、法令を遵守し地域・社会に貢献することを掲げて周知徹底をしている																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	出願した特許や商標は適切に管理している　この１年間で専門の部署を立ち上げた								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	就業規則に個人情報の取り扱いを決めている																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用	該当しない																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	ＪＦＳ－Ｃ規格を取得　それに則り改善活動を実行している　また月に1回その報告会も行っている			3.9									12.4					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	品質管理室を品質保証部に格上げし権限を強化、ＪＦＳ－Ｃ規格を基本にした運用を推進している　この１年間は同規格のVer3.0への移行に取り組み完了した									9								

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
30	製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用							6						12	13	14	15		
31	製品・サービス	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	産学で蕎麦が持つ健康機能を研究中、また栄養豊富なそば粉の特長を生かした「そば粉でおいしいパンケーキミックス」を上市、麺以外の新しい市場の開拓を開始した	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	雇用の維持拡大、栃木県産そば粉の拡売に努めている				4					9		11	12		14	15		17
33	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	フードバンクうつのみやに乾麺を390食を寄付、また社員の家庭内在庫で余剰になった食品を持ち寄り４４点を寄付。				4							11			14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	家庭用の焼き菓子「蕎麦バー」（栃木県産そば粉使用）をリニューアル、また県産の玄蕎麦を使用した「夏蕎麦」（１ｋｇ詰めそば粉）を発売した。また栃木県を蕎麦で有名にするキャンペーンを開始、「とちぎはそば県」と刻印したタヌキの置物を作成し県内の蕎麦店に配布中								8	9		11	12	13				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	チーム内の打合せ、課長会議、部門長会議で確認している																16	
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	経営理念・年度方針は社内に明示されている ＳＤＧｓの活動は社内各部から人選したチームが定期的に会合を持ち進捗を管理								8	9								17
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	就業規則や仕事に関するマニュアルを常に見直している																16	
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	安全で安心な製品を提供するために生産部と品質保証部が主体的な役割をになっている																16	
39	組織体制	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	ＪＦＳ－Ｃ規格をベースにして様々な管理を行っている　安全衛生委員会や改善活動報告会なども併せて実施し確認をしている　リスクマネジメントに関する事項は年1回内容を更新している																16	
40	組織体制	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用	経営理念に社会的責任を明記し、法令の順守と地域社会への貢献を使命としている																16	
41	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用																	16	17
42	組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	災害発生時の全社員の安否確認が出来るシステムを導入した									9		11		13 13.1			16	
43	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用									8	9								17

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】

・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）